

第 2 回 総合計画策定審議会 議事要旨

会議名：第 2 回総合計画策定審議会

日時：2020 年 1 月 30 日（木）15:00～17:00

場所：吉野町中央公民館第 3 研修室

参加者：出席者名簿の通り（欠席者：吉野町スポーツ推進委員東平委員の計 1 名）

資料：・次第

- ・【資料 1】 これまでの取組の経過報告
- ・【資料 2】 第 2 回町民 Café&Talk 実施報告書
- ・【資料 3】 令和元年度吉野町住民アンケート結果報告書
- ・【資料 4】 令和元年度中学生アンケート結果報告書
- ・【資料 5】 吉野町の将来像聴取のためのポスター掲示結果
- ・【資料 6】 現行計画（第 4 次吉野町総合計画）の方針と取組
- ・【資料 7】 次期総合計画の構成の検討状況の報告
- ・【資料 8】 次期総合計画におけるまちの将来像の検討状況の報告
- ・【資料 9】 第 1 回審議会における質問等に対する回答

【以下、協議内容】

1 開会

2 （1）現状分析の実施内容と経過報告について

- 「資料 1 これまでの取組の経過報告」「資料 2 第 2 回町民 Café&Talk 実施報告書」に基づいて説明を行った。（※策定スケジュール案の中で、第 3 回審議会は当初 3 月に開催予定であったが、5 月の開催に変更する予定であり、次回開催までに急を要する審議事項が生じた場合は、書面審議を依頼予定である旨を共有。）

【委員】

庁内検討会議及び庁内職員分科会の結果は資料等で公表されていないのか知りたい。庁内検討会議及び庁内職員分科会での具体的な内容を公表する（住民が知る）ことは、行政が今後 10 年間の吉野町をどのように考えているかを理解する上での参考となる。

【事務局】

本日の資料には含めていないが、実施報告書で実施内容をとりまとめているため提示することは可能である。また、本日の資料 7 及び 8 は、庁内検討会議及び庁内職員分科会で協議した結果を反映した資料である。

【会長】

庁内の会議体での検討内容について審議会で共有すべき内容があれば提示を検討頂く。

【委員】

これまでに町民 Café&Talk を 2 回開催しているが、参加者の約 4 割が外部の学生であることについてどのように考えるかを確認したい。また、各回のメンバーはどのような構成になっているか確認したい 1 回目と 2 回目は同じメンバーであったのか、1 回目と 2 回目のメンバーは入れ替わっているのか知りたい。また、1 回目と 2 回目の検討内容についてもメンバーを入れ替えて将来像について検討したのか。

【事務局】

参加者の約 4 割が外部の方であることについては、学生の方に積極的に協力頂いた一方で住民の方の参加が少なかったことは認識している。そのため、今後は、より住民の参加を促せるよう周知していく必要があると考えている。

また、メンバー構成については、1 回目から引き続き参加頂いている方が半数以上となっている。ただし、1 回目と 2 回目のテーマは同じであるが、2 回目はより具体的なワークを実施しているため内容は深化させている。さらに、町民 Café&Talk では参加者に偏りが生じているため、桜満開ポスター等の取組を通して、より幅広く住民からの意見を集めることができるよう工夫している。

- 「資料 3 令和元年度吉野町住民アンケート結果報告書」「資料 4 令和元年度中学生アンケート結果報告書」に基づいて説明を行った。

【会長】

「資料 3 令和元年度吉野町住民アンケート結果報告書」の 11-15 頁には重要度と満足度の結果が掲載されているが、「地域医療」「公共交通」「高齢者福祉」が重要であることがわかる。ただし、アンケートの結果で重要度が低ければ、町として取組の重要度が低いということではない。公共交通については、年齢に関係なく重視して欲しいということが読み取れるが、住民アンケートは 60-70 代の回答割合が高いため「地域医療」「高齢者福祉」に関する施策の重要度が必然的に高くなる。そのため、アンケートの結果は、回答者の属性を踏まえて分析し今後の施策展開を検討していく必要がある。

【事務局】

ご指摘の通り、アンケートの結果は、属性により重要度や満足度の結果は異なるため、各課で確認し、今後の施策展開の検討をしていきたいと考えている。

【委員】

「資料 3 令和元年度吉野町住民アンケート結果報告書」の 3 頁を見ると、30 代が 7.0% であり、子育て世代の回答者が少ないことに驚いている。また、吉野町は日本一の子育て支援を目指しており、奈良県においてトップレベルの子育て支援の充実に取り組んでいるが満足度が低い。具体的には「高卒までの医療費無償化」「給食費の無償化」等、迅速に取り組んでいるがアンケート結果には表れていない。この結果をどのように総合計画に盛り込んでいくのかを知りたい。

【事務局】

子育て世代の意見や今後の町民 Café&Talk の中での意見等を施策展開に反映させて頂きたいと考えている。

【委員】

町民 Café&Talk に子育て世代が参加していないため、子育て世代が集まるところに出向いて意見を聞く必要があると考える。また、現在、子育て支援計画を策定中であるが、その計画と連動していないことが残念である。子育て支援計画の策定にあたって、学童保育や子育て支援施設に聞き取りを行い、子育て中の方々の生の声を踏まえて計画策定している。子育て支援計画策定にあたって全数調査を実施しているため連携をすることで総合計画の内容がより豊かになると考える。

【事務局】

本日は、総合計画策定にあたって実施した調査の結果の報告をさせて頂いたが、各課で実施している各種調査の結果も踏まえた上で、今後の施策展開を検討していくことを予定している。

【委員】

「資料 3 令和元年度吉野町住民アンケート結果報告書」の 8 頁を見ると、スマイルバスの利用状況の結果、利用者が 1 割程度となっている。スマイルバスは住民ニーズが高く、町も力を入れた取組であるため、より詳細な分析が必要であると思う。

【事務局】

本年度、公共交通網形成計画を策定中であり、別途調査やデータ収集を行っているため、その結果も踏まえながら取組を進めていくことを予定している。

【委員】

「資料 3 令和元年度吉野町住民アンケート結果報告書」の 14 頁を見ると、2019 年度と

2014年度の結果を示しているグラフの中心線がずれているため修正して欲しい。

また、「利便性の高い公共交通システムの構築」や「安全で快適な道路・河川の整備」は、変化が大きい施策となっている。住民アンケート及び中学生アンケートの両方において「利便性の高い公共交通システムの構築」の重要度が高まっているため、年齢に関係なく重要であると考えていることがわかる。

中学生アンケート結果から、中学生世代は女の子より男の子の方が自然に触れる機会が多く、自然に触れている子どもたちが、自然が壊されていると感じていることは問題であるとする。

【事務局】

「資料 3 令和元年度吉野町住民アンケート結果報告書」の 14 頁の散布図の見方について補足説明すると、中心線は重要度と満足度の平均値にラインを引いているため、年度により若干のずれが生じている。

また、重要度と満足度の調査結果において、公共交通や環境保全に関するご意見については、実態を受け止め、今後の施策展開を検討していきたいと考えている。

【会長】

子ども子育て支援計画やその他の個別計画等の策定における調査結果について、総合計画に関係する内容があれば審議会資料を提示することを検討頂く。また、「資料 3 令和元年度吉野町住民アンケート結果報告書」の 18 頁を見ると、近所付き合いの頻度の結果があり、比較的地域とつながりやすい 30 代世代の約 4 割が、近所付き合いがないという結果になっているため、今後、地域コミュニティについて考えていく必要があると思う。

【委員】

アンケート結果で数値や意見は出ているが、どのように解釈するかを考える必要がある。例えば、スマイルバスは利用する人は少ないが、それを利用する（必要とする）人がいるということである。また、免許証返納をするにあたっては、スマイルバスや日常の移動手段を考える必要がある。また、中学生アンケート結果も 1 つ 1 つ深く考えていく必要がある。

【委員】

中学生アンケートは、生徒が正直に回答した結果である。また、住民アンケートも同様であり、高齢者の回答が多いため「利便性の高い公共交通システムの構築」の重要度が高いという結果は当然のことである。先ほど、話にもあった子ども子育て支援計画の策定にあたっては、希望や要望に応えることが行政施策であるか疑問である。

自然が豊かで、住むのは嫌ではないが、「遊びに行く」「買物に行く」場所の充実を求めている。子どもたちが求める移動手段の充実はスマイルバスの充実ではなく、吉野町から町外

に行くための移動手段の充実のことである。そのため、今後は、自然を大切にするのか、町内で生活できる環境を整備するのか等、まちの方向性を整理する必要がある。

【会長】

すべての希望や要望に応えることは難しいため、限られた資源の中で実現可能な今後の吉野町の方向性を検討することが重要であると考えている。

- 「資料5 吉野町の将来像聴取のためのポスター掲示結果」「資料6 現行計画（第4次吉野町総合計画）の方針と取組」に基づいて説明を行った。

【委員】

中学生アンケート結果から「働く場所がない」という意見があったように、町では「吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」による取組を進めてきていると思うが、その町の取組により、どの程度雇用が創出されたかを確認する必要がある。また、経済雇用環境は変化していくため雇用に関する施策への取組は喫緊の課題であると考えている。

【事務局】

現在、各施策の取組の成果や効果の検証を進めているため、その結果を審議会に提示することを予定している。

【委員】

空き家バンクの施策について、まず家が見つからないことが最初のハードルとなっている。これまで4組程度の家探しを手伝ったが、「中に物が多い」「家があっても補修費用が高い」等の問題がある。空き家バンクだけではなく、住むことのできる家を紹介できるようにする必要があると思う。

【事務局】

移住に関する支援メニューとしては、空き家改修補助金（上限50万円）、空き家清掃補助金（上限10万円）等がある。また、すぐに住める空き家が少なくマッチングが進まないことも現状であるため、より拡充できる支援を進める必要があると感じている。

【会長】

空き家対策は、移住・定住を進めるにあたって重要であるため、総合計画に何らかの形で反映できればと思う。

【委員】

農業や鳥獣被害に関する実態や今後の施策はアンケートには表れていないが、今後、どのように反映させていくのか知りたい。第4次総合計画策定時は、グループに分かれて専門部会を設定し協議したと思う。

【事務局】

現在、現状分析、基本構想の策定を進めている段階である。そのため、基本計画の作り込みの段階で各施策に関連する具体的な内容を議論頂く予定である。また、昨年実施した大字別懇話会で出た意見も踏まえて計画策定を進めていくことを予定している。

【会長】

基本計画の作り込みにおいて、審議会で提示された内容を各団体に持ち帰って協議頂き、次の審議会で意見を持ち寄って頂くことになると思う。

2 (2) 次期総合計画について

- 「資料7 次期総合計画の構成の検討状況の報告」「資料8 次期総合計画におけるまちの将来像の検討状況の報告」に基づいて説明を行った。

【委員】

第1次から第4次までの40年間の総合計画の取組結果や課題と今回実施した現状分析の結果を踏まえて、次の総合計画につながっていくと考えるが、これまでの事業に対する検証を実施しているか知りたい。

【事務局】

40年間という期間での検証は実施していないが、行政評価という取組により、毎年、総合計画に掲げている取組の進捗状況や成果、課題等を確認している。また、行政評価は、職員による内部評価だけではなく、外部評価により有識者からの評価も実施している。このように実施している検証結果は、審議会でも提示した上で、次期総合計画におけるまちづくりの課題の項目において掲載を予定している。

【委員】

これまでの取組は、吉野町に住んでいる住民は知らないことが多い。例えば、子育て施策は年代的に興味・関心が高い分野であるが取組内容を知らない。住民レベルに浸透していないため、これから子どもを産み育てようと考えている世代がどこから情報を入手して、どのように活用すればよいか重要である。

【事務局】

職員分科会でも意見があったが、各課にある個別計画との関係は整理したいと考えている。

【会長】

今後、各団体を通して議論していくと同時に、各地域で議論することも必要になると考える。

2 (3) その他

- 「資料9 第1回審議会における質問等に対する回答」に基づいて説明を行った。

【会長】

有効求人倍率は量を示すものであり、若者が望む仕事についてはより詳しく調査が必要である。

- 事務局より事務連絡を行った。

3 閉会

- 事務局より閉会の挨拶を行った。

以上